

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（多核種除去設備スラリー安定化処理設備の設置）に係る面談
2. 日時：令和4年8月19日（金）14時00分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、大辻室長補佐、塩唐松係員
新井安全審査官（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
東京本社 担当2名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当19名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 原子力規制庁から、現在審査中の実施計画の変更認可申請（多核種除去設備スラリー安定化処理設備の設置）について、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）による前回の説明資料に対する指摘事項を資料に沿って伝えた。特にスケジュールについては、リスクマップにおける目標及びHIC保管容量のひっ迫予測を鑑み、早急に説明するよう求めた。
- 東京電力から指摘事項を検討する旨、特に耐震クラス分類と閉じ込め機能については、現在審査中であり同様の課題があるスラリー安定化処理設備、除染装置スラッジ回収施設及び大型廃棄物保管庫の3施設について早急に考え方を整理した上で3施設併せて説明する旨回答があった。

6. その他

資料：

- スラリー安定化処理設備に関する指摘事項